

最上地区生涯教育推進協議会

事業関係等

令和4年度最上地区生涯教育推進協議会役員名簿

【令和4年度・令和5年度】

役職	所属	氏名	職名	
会長		沼澤 稔	新庄市社会教育委員	
副会長		矢口 末吉	鮭川村教育委員会教育長	
		岸 隆一	学識経験者	
監事		佐藤 雅彦	県神室少年自然の家所長	
		澁江 学美	広域教育研究センター所長	
顧問		齋藤 彰	地区生涯教育推進協議会前会長	
		近内 孝哉	最上教育事務所長	
理事	新庄	高野 博	教育長	
		沼澤 稔	社会教育委員	
	金山	須藤 信一	教育長	
		笹原 勇一	社会教育委員	
	最上	中嶋 晴幸	教育長	
		奥山 孝雄	社会教育委員	
	舟形	伊藤 幸一	教育長	
		小國 隆	社会教育委員	
	真室川	門脇 昭	教育長	
		庄司 一夫	社会教育委員	
	大蔵	有馬 眞裕	教育長	
		須藤 修一	社会教育委員	
	鮭川	矢口 末吉	教育長	
		高橋 満	社会教育委員	
	戸沢	市川 重保	教育長	
		荒川 精治	社会教育委員	
	関係機関・団体		佐藤 雅彦	県神室少年自然の家所長
			澁江 学美	広域教育研究センター所長
			浅井 純	地区小学校長会長
			高橋 研	地区中学校長会長
			幅野 宏一	地区スポーツ推進委員協議会長
			柏倉 政男	県スポーツ少年団最上地区協議会長
			柿崎 和朗	地区PTA協議会長
			佐藤 太郎	地区芸術文化団体協議会長
	岸 隆一	学識経験者		
	武田 久昭	学識経験者		

役職	氏名	職名
幹事	渡辺 政紀	新庄市教育委員会社会教育課長
	松澤 和仁	金山町教育委員会教学課長
	板垣由紀子	最上町教育委員会教育文化課長
	豊岡 将志	舟形町教育委員会教育課長
	高橋 雅之	真室川町教育委員会教育課長
	鳴海由紀子	大蔵村教育委員会教育課長
	今井 和子	鮭川村教育委員会教育課長
	清水利枝子	戸沢村教育委員会共有課長

◆事務局◆

役職	氏名	職名
事務局長	栗田 忠男	最上教育事務所社会教育課長
事務局員	八城 良美	最上教育事務所主任社会教育主事
事務局員	今田 博之	最上教育事務所社会教育主事
事務局員	高橋 裕美	最上教育事務所社会教育主事
事務局員	松田 憲英	最上教育事務所社会体育主事

◆表彰審査委員◆

顧問	近内 孝哉	最上教育事務所長
副会長	岸 隆一	学識経験者
副会長	矢口 末吉	鮭川村教育委員会教育長
理事	浅井 純	地区小学校長会長
理事	高橋 研	地区中学校長会長
理事	澁江 学美	広域教育研究センター所長

◆山形県社会教育連絡協議会◆

理事	沼澤 稔	最上地区生涯教育推進協議会会長
理事	奥山 孝雄	最上地区生涯教育推進協議会理事

最上地区生涯教育推進協議会規約

第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、最上地区生涯教育推進協議会と称し、事務局を最上教育事務所内に置く。

(組織・目的)

第2条 この会は、最上地区各市町村をもって組織し、相互協力して公民館活動を中核に生涯教育の振興発展を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 1 各市町村の公民館相互の連絡提携並びに情報の交換
- 2 生涯教育に必要な研究及び調査
- 3 生涯教育の振興と充実を図るための研修会等の開催
- 4 生涯教育関係機関並びに社会教育関係団体等との連絡提携
- 5 生涯スポーツ並びに文化・芸術の振興と充実
- 6 その他、目的達成に必要な事項

2 この会の事業の企画立案とその執行にあたるために、必要に応じて委員会を構成することができる。

第2章 役員

(役員)

第4条 この会に、次の役員を置く。

- | | | | |
|---|-------------------|-----|-----------------------|
| 1 | 会 長 | 1 名 | |
| 2 | 副会長 | 2 名 | |
| 3 | 理 事 | | |
| | ・各市町村教育委員会教育長（8名） | | ・各市町村社会教育委員又は公民館長（8名） |
| | ・最上広域教育研究センター所長 | | ・県神室少年自然の家所長 |
| | ・最上地区小学校長会長 | | ・最上地区中学校長会長 |
| | ・最上地区スポーツ推進委員協議会長 | | ・県スポーツ少年団最上地区協議会長 |
| | ・最上地区PTA協議会長 | | ・最上地区芸術文化団体協議会長 |
| | ・学識経験者（若干名） | | |
| 4 | 監 事 | 2 名 | |
| 5 | 事務局長 | 1 名 | 事務局員 若干名 |
| 6 | 幹 事 | 8 名 | |

(任務)

第5条 この会の任務は、次の通りとする。

- 1 会長は、会を代表して会務を処理する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長が事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、この会の事業に関する議定並びに予算・決算・規約の変更等について審議する。
- 4 監事は、この会の会計事務を指導監査する。
- 5 事務局員は、常時本会の事務を行う。
- 6 幹事は、幹事会を構成し、会務の運営・執行にあたる。

(選出)

第6条 この会の役員は、次のようにして決定する。

- 1 会長、副会長、監事は、理事会において選出する。
- 2 理事のうち社会教育委員又は公民館長の代表は、市町村教育委員会から選出された者とする。また、理事のうち学識経験者は、理事会の承認を得て選出するものとする。
- 3 事務局長及び事務局員は、理事会の承認を得て会長が委嘱する。
- 4 幹事は、市町村社会教育主管課長等をもって充てる。

(任期)

- 第7条 役員の任期は2カ年とする。但し、再任は妨げない。
2 欠員の生じた場合、補欠役員の任期は前任者の残任期間とする

(顧問)

- 第8条 この会に、顧問を置くことができる。顧問は、理事会の承認を得て、会長が委嘱し、会の諮問に応じる。

第3章 会 議

(会議)

- 第9条 この会の会議は、理事会・幹事会として会長が召集する。
1 理事会は年3回として、必要に応じて臨時に開くことができる。
2 幹事会は、必要に応じて開くことができる。

第4章 会 計

(年度)

- 第10条 この会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(経費)

- 第11条 この会の経費は、次の収入をもって充てる。
1 市町村負担金
2 その他の収入

第5章 補 則

(規定)

- 第12条 この会の運営に関し、必要な規定は、理事会の承認を得て定める

(簿 冊)

- 第13条 この会に、次の簿冊を置く
・規 約 ・会計簿 ・役員名簿 ・表彰規定

付 則

- ・この会則は、昭和27年11月1日より施行する。
- ・この会則は、昭和30年4月1日より施行する。
- ・この会則は、昭和38年4月1日より施行する。
- ・この会則は、昭和42年4月1日より施行する。
- ・この会則は、昭和51年3月9日より施行する。
- ・この会則は、昭和52年5月23日より施行する。
- ・この会則は、昭和54年5月9日より施行する。
- ・この会則は、昭和60年4月1日より施行する。
- ・この会則は、昭和61年3月5日より施行する。
- ・第5条3項に基づき、平成2年3月5日の評議員会において、従来の「最上地区社会教育振興会」を「最上地区生涯教育推進協議会」と改称し、規約の一部を改正する。
なお、この規約は、平成2年4月1日より施行する。
- ・この規約は、平成10年5月19日より施行する。
- ・この規約は、平成14年3月6日より施行する。
- ・この規約は、平成18年5月9日より施行する。
- ・この規約は、平成25年5月23日より施行する。
- ・この規約は、令和3年4月1日より施行する。

令和4年度 最上地区生涯教育推進協議会運営方針

【最上地区生涯教育推進協議会のあゆみ・関連する出来事】

昭和22年度	「最上郡社会教育委員会」として発足
昭和27年度	「最上郡社会教育振興会」に改称 以来充実した事業を展開
昭和30年度	「最上地区社会教育振興会」に改称
昭和38年度	第1回最上地区社会教育振興大会を新庄市で開催
昭和50年度	「生涯教育功労者表彰」を開始
昭和54年度	実践事例集「最上の社会教育」第1集発行
昭和61年度	最上地区の社会教育の在り方について、8市町村78名から意見を提出してもらい、意見集「活力に満ちた学習社会の実現を目指して」を作成
昭和62年度	検討委員会を設置して「提言のまとめ」を作成
昭和63年度	推進委員会を設置して「最上の社会教育推進のために」を作成
平成元年度 平成2年度	最上地区生涯教育推進協議会と改称し一層の事業充実へ 企画検討委員会を設置
平成3年度	企画検討委員会で学社連携について具体的取組を検討し、「学校教育・社会教育連携推進会議」を設立
平成5年度	学社連携推進会議が中心となり、県内に先駆けて学社連携実践事例集「S&Sハンド・イン・ハンド」を初発行 各小中学校の校務分掌に学社連携推進員（社教主事有資格者が主）の設置を提唱
平成6年度 平成7年度 平成8年度	管内の小中学校の校務分掌に「学社連携推進員」に位置づけされる 「学社連携推進員研修会」を開催（社教主事有資格教員の参加要請） 「学社連携推進員研修会」を「学社連携推進研修会」に変更
平成11年度 平成13年度	第45回東北地区公民館大会を新庄市で開催 社連携実践事例集「S&S（ハンド・イン・ハンド）」第2号を発行
平成14年度 平成16年度	「学社連携推進研修会」を「学社連携融合推進研修会」へ 完全週5日制や教育課程の変更等による新たな学社連携・融合を深化拡充 市町村社会教育委員・公民館運営審議会委員合同研修会を開催
平成22年度 平成23年度	平成2年度に発足した「山形県公民館連絡協議会」及び平成8年3月に発足した「山形県社会教育委員連絡協議会」が統合し「山形県社会教育連絡協議会」となる。※最上地区の理事の選出母体は、本協議会とすることを確認した。 市町村社会教育委員・公民館運営審議会委員合同研修会で市町村長への講師依頼開始
平成26年度 平成28年度	「最上地区自作視聴覚教材コンクール」開始 「学社連携融合推進研修会」を「地域とともにある学校づくり研修会」へ （第6次山形県教育振興計画の実施）
平成30年度	「第5次山形県生涯学習振興計画」が策定 ※「自立・協働・創造」の視点から地区の生涯教育推進の中心的団体として、本組織を構成する機関・団体と密接に連携しながら諸事業を推進していく。 ※年々財政基盤が弱くなってきていることから、安定した予算の確保や大会等の関係経費の見直しを行う。
(平成31年度) 令和元年度	「県第6次教育振興計画・後期計画(令和元～4年度)」開始初年度 改訂小学校学習指導要領実施開始 全国公民館研究集会兼東北地区社会教育研究大会新庄大会実行委員会立上げ ※本協議会三役・市担当課等が県社教連と共に 東北地区社会教育研究大会（盛岡大会）視察 放送教育研究会東北大会兼県メディア教育研究大会新庄大会で社会教育分科会運営 3月の第3回理事会中止（書面会議）

令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、春の本理事会・総会は書面会議に/東北大社 教主事講習中止/東北地区社会教育研究大会(秋田大会)中止/県スポ少ジュニアリーダー研 修会(神室2泊)中止/最上地区YYボランティア交流会&フェスティバル中止 国・県のコロナへの具体的対応・措置(スポーツ活動や施設使用の制限等)周知 改訂中学校学習指導要領実施開始 最上地区家庭教育推進協議会、青少年ボランティア推進事業への支援開始
令和3年度	最上地区生涯教育推進協議会が実行委員会となり、第43回全国公民館研究集会・令和3年 度東北地区社会教育研究大会・第66回東北地区公民館大会山形大会(兼)第12回山形県社 会教育研究大会・第59回最上地区生涯学習推進大会・第38回山形県生涯学習振興大会最上 大会を、新庄市を会場に完全リモート開催で実施

1 基本方針

最上地区の市町村教育委員会・社会教育関係機関・団体間の連携を強化し、本地区の生涯教育推進に係る課題の協議や研修を深め、生涯学習の環境づくりに努める。

2 本年度の重点

(1) 生涯学習推進体制の整備と充実

- ① 今日の課題及び地域課題を把握しながら、かかわりと学びが深まるような体制の整備を一層支援する。
- ② 本協議会の主催事業である諸研修会を充実し、本地区の生涯学習社会の一層の構築と活力ある地域づくりの推進をめざし、社会教育関係者及び社会教育行政職員・社会教育主事有資格者の資質向上を図る。
- ③ 各種社会教育関係団体や生涯学習ボランティア等の活動充実への支援を図る。
- ④ 令和4年度第60回最上地区生涯学習推進大会の成功に向けて、会場地の鮭川村を中心に、最上8市町村それぞれ連携して準備を進め、充実した大会をめざす。

(2) 生涯学習を推進する中核施設としての役割を持つ公民館の質的拡充

- ① 多様な学習機会の提供、自発的な学習活動の支援、学習成果活用の機会の設定を通し、公民館の多様化と活発化をめざす。
- ② 地区公民館・分館・自治公民館等の連携をさらに強化し、地域とのつながりを大切にしながら、地域コミュニティの拡充を支援する。
- ③ 社会教育施設の管理運営の変容に伴い、今日的な課題や地域住民のニーズに応じた参画型・体験型の事業を企画・実践できるコーディネーター育成を支援する。

(3) 学社連携・協働の推進

- ① 各市町村の学社連携推進会議や各校の学社連携推進員業務の充実を図りながら、地域の教育力を積極的に活用した教育活動を支援するとともに、学校・家庭・地域の連携協働をより一層深めていくための研修の充実を図る。
- ② 青少年と大人の社会力向上や地域づくりを推進するため、青少年や地域のボランティアサークルの活動を支援する。
- ③ 郷土の自然・歴史・文化等に関する学習に活用できる視聴覚教材の制作を奨励するとともに、地域をつくる人材育成を支援する。
- ④ 家庭教育や読育に関する団体等への支援を充実させ、地域と家庭の教育力向上を図る。

(4) 新型コロナウイルス感染への効果的対策

- ① オンラインによる事業メリットや期待される効果を事前検討し、積極的に活用する。
- ② 事業参加者(関係者含む)の安全・安心を最優先に事業を計画・運営する。
- ③ 事業の実施に際しては、柔軟で迅速な改善・変更を躊躇しないよう、年度当初より連携団体や関係機関と共通理解を図る(予算執行に関する柔軟対応も含む)。

(5) 本協議会の予算的基盤の確保

- ① 法令外負担金の確保
- ② 諸事業にかかわる経費の効果的な運用

令和4年度 最上地区生涯教育推進協議会事業報告

	事業名	期日・会場等	主な内容
主 催 事 業	第60回最上地区生涯学習推進大会・ 第39回山形県生涯学習振興最上大会	<ul style="list-style-type: none"> ・11月16日(水) ・鮭川村中央公民館 ・参加者98名 	<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「清流さけがわ太鼓」発表 ① 開会行事・表彰 ② 講演「総合型クラブによる笑顔のネットワークづくり」 講師：NPO 法人さけがわ友遊クラブマネージャー 伊藤淳子氏 ③ 軽スポーツ体験「モルック」
	<p>【研修事業】</p> <p>市町村社会教育委員・ 公民館運営審議会委員合同研修会 (兼)社会教育主事有資格者等研修会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9月28日(水) ・最上総合支庁講堂 ・参加者38名 	<p>○内容</p> <p><事例提供> 「和合の里振興計画実現に向けた取組み」 発表者 和合の里を創る会 事務局長 高橋逸夫氏 渡會幸江氏</p> <p><講演> 【テーマ】アフターコロナの公民館活動 ～社会教育委員、公民館運営審議会委員 社会教育士の協働で創る地域の未来～ 講師 山形大学地域教育文化学部 教授 安藤 耕己 氏</p> <p><感想交流・情報交換></p>
	<p>【青少年育成事業】</p> <p>最上地区ヤングボランティア交流会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年 2月4日(土) ・会場：ゆめりあ ・参加者 中・高校生57名 スタッフ等29名 計 86名 	<p>○内容</p> <p><企画運営委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 11/18(金) ゆめりあ 参加者 21名 ・臨時オンライン会議 12/9(金) 参加者 23名 ・第2回 1/12(木) ゆめりあ 参加者 29名 <p><ヤングボランティア交流会></p> <p>交流① 企画運営委員お楽しみ企画 交流② ボランティアスキルアップ講座 交流③ ボランティアサークル紹介</p>
	<p>【視聴覚教育推進事業】</p> <p>最上地区自作視聴覚教材 コンクール</p>	<p>審査会 12月1日(木) ・総合支庁203会議室</p> <p>※事前審査会 11月29日(火) ・総合支庁203会議室</p> <p>表彰式 令和5年 2月27日(月) ・ゆめりあ</p>	<p><学校教育部門></p> <p>最優秀賞 「雪のふるさと 新庄」～その 成り立ちを探る水辺めぐり～ 制作：図書館ボランティアかやのみ会</p> <p><社会教育部門></p> <p>優秀賞 小國盆地のはじめ 制作：北條町恵</p> <p>優秀賞 ジョーともんちゃん のドキドキたいそう 制作：わ+</p> <p><児童生徒部門></p> <p>優秀賞 ますがたふるさと CMをつくろう！ 制作：新庄市立升形小学校 ふるさと学習チーム</p> <p>※最優秀1、優秀3、入選2、努力賞21</p>

	<p>【情報提供事業】 「最上の社会教育」 (第44集発刊)</p>	<p>・令和5年 3月中旬発行</p>	<p>○8市町村及び県神室少年自然の家の特色ある事業と今年度の本協議会の事業・記録等を掲載</p>
	<p>【学社連携・融合推進事業】 地域とともにある学校づくり研修会兼社会教育主事有資格教員等研修会</p>	<p>・7月12日(火) ・ゆめりあ・ (ハイブリッド開催) ・参加者52名</p>	<p>○内容 <講演> 演題:『地域とともにある学校&学校とともにある地域づくり・学校を拠点とした地域づくりの推進』 講師:CSマイスター 岸裕司氏 <感想交流・情報交換></p>
	<p>【家庭教育推進事業】 最上地区家庭教育推進協議会</p>	<p>① 5月12日(木) ② 3月3日(金) 研修日: 11月10日(木) 参加者 31名</p>	<p>○内容 ・県事業や各市町村、関係機関における家庭教育支援事業についての説明と報告 ○研修会の内容 ① 事例発表 読育推進連携講座(最上教育事務所) ② 講演&ワークショップ 「Let's 考えよう!話し合おう!子どもとアートや読書を楽しむことに関するあれこれ」 講師:ラーワーちひろ氏</p>
関係諸会議	理事会	<p>① 5月16日(月) ② 8月31日(水) ③ 2月27日(月)</p>	<p>○鮭川村中央公民館 ○新庄市エコロジーガーデン多目的ホール ○ゆめりあ会議室</p>
	表彰審査委員会	<p>・8月31日(水)</p>	<p>○新庄市エコロジーガーデン多目的ホール</p>
	幹事会 (社会教育主管課長会と兼ねて実施)	<p>① 4月14日(木) ② 8月19日(金) ③ 2月20日(月)</p>	<p>○オンライン会議 ○オンライン会議 ○総合支庁 講堂</p>
	県社会教育連絡協議会	<p>・第1回理事会 5月26日(木) オンライン会議 ・総会 5月26日(木) 書面開催 ・第2回理事会 令和5年1月19日(木) オンライン開催</p>	

令和4年度
第60回 最上地区生涯学習推進大会
第39回 山形県生涯学習振興最上大会

【開催要項】

<趣 旨>

生涯学習は、生涯にわたり「よく学び、心豊かに生きること」「知恵と技を磨き、しなやかに生きること」「体を鍛え、健やかに生きること」そして「力を合わせ、潤いのある社会をつくること」をめざす営みです。そのような営みが活発に展開される社会の形成をめざして、社会教育が中核として関係する諸機関団体と連携し、地域住民の主体的な各領域・各年代の学習機会や環境を充実させていくことが重要視されてきています。また、公民館等を拠点に、住民に、「住民一人ひとりの学び」から「みんなの学び合い」に発展させ、地域のさまざまな課題解決に向けた協働の取組みが強く求められています。

そこで、人づくり・地域づくりの一翼を担う生涯学習を一層推進すべく、本大会を開催します。

◆ 大会テーマ ◆

『生涯学習社会の形成と活力ある地域づくり』

サブテーマ

～ 生涯学習・生涯スポーツを通じた笑顔のネットワークづくり ～

- 1 日 時 令和4年11月16日(水) 午後1時から午後4時15分まで
- 2 会 場 鮭川村中央公民館 体育室 ほか
- 3 主 催 最上地区生涯教育推進協議会
- 4 共 催 最上教育事務所 鮭川村教育委員会
- 5 後 援 最上地区各市町村教育委員会 公益財団法人山形県生涯学習文化財団
- 6 主 管 第60回最上地区生涯学習推進大会
兼 第39回山形県生涯学習振興最上大会実行委員会
- 7 参加対象 ○一般学習者 ○社会教育行政関係者 ○生涯学習行政関係者
○公民館関係者 ○学校教育関係者等

8 日 程

(時刻 : 12:30 13:00 13:20 13:50 13:55 14:45 15:00 16:00 16:05 16:15)

受付	アトラクション	表彰 開会行事	講演	準備	軽スポーツ体験等 ・モルック体験	閉会 行事
----	---------	------------	----	----	---------------------	----------

9 内 容

- (1) アトラクション 「清流さけがわ太鼓」
- (2) 開会行事 「最上地区生涯教育功労者」表彰 等
- (3) 講演等 演題 : 「総合型クラブによる笑顔のネットワークづくり」
講師 : NPO法人さけがわ友遊クラブ クラブマネジャー 伊藤 淳子 氏
- (4) 閉会行事

10 参加申込み

- (1) 参加料は無料です。
- (2) 参加希望者は、10月12日(水)まで各市町村教育委員会へお申込みください。各市町村教育委員会は、下記様式により取りまとめ、10月17日(月)必着で大会事務局にお申込みください。

11 その他

- (1) 駐車台数に制限がありますので、駐車台数を把握するため参加申込書の交通手段の欄にマイクロバス、自家用車等の記入をお願いします。
- (2) 大会に関する問合せ等は、下記の大会事務局までお願いします。
- (3) 「モルック体験」につきましては、運動着や運動靴等を準備する必要はありません。お越しいただいた服装、スリッパのまま活動に御参加ください。

最上教育事務所社会教育課
主任社会教育主事 八城 良美
TEL 0233-29-1441
FAX 0233-23-5573

— 申 込 書 様 式 —

第60回 最上地区生涯学習推進大会 参加申込書

第39回 山形県生涯学習振興最上大会 【市町村名 ; _____】

No.	所 属 ・ 職 名	氏 名	交通手段	備 考
1				
2				
3				
4				
5				

令和4年度

地域とともにある学校づくり研修会 兼 社会教育主事有資格教員等研修会

- 1 ねらい 学校、家庭、地域の連携協働体制を強化し、学校における「社会に開かれた教育課程」を推進するとともに、地域学校協働活動を活性化していく学社連携推進員や地域学校協働活動推進員等、及び地域活動団体のスキルアップを図る。
- 2 主催 山形県教育委員会 最上地区生涯教育推進協議会 最上地区社教倶楽部
- 3 主管 最上教育事務所
- 4 期日 令和4年7月12日（火）
- 5 会場 ゆめりあ 会議室（リモート参加可）
- 6 対象
 - ・小中学校・義務教育学校職員(学社連携推進員、社会教育主事有資格教員等)：各校1名以上
 - ・最上地区各市町村教育委員会職員等
 - 最上地区生涯教育推進協議会会員、学校運営協議会関係者、社会教育主事有資格の市町村職員
 - 社教倶楽部会員、地域学校協働活動・放課後子ども教室関係者（地域学校協働活動推進員、学習支援員、協働活動支援員、協働活動サポーター）
 - 読み聞かせサークル連絡協議会員 他
- 7 日程 受付 13:00～

13:30 13:50

15:50 16:20 16:30

受付	開 会 行 事 行政説明	テーマ『地域とともにある学校&学校とともにある地域づくり・学校を拠点とした地域づくりの推進』～学校・家庭・地域の協働・融合～ 講師：岸 裕司 氏 (CSマイスター/スクール・コミュニティ研究会代表/日本大学非常勤講師) ※途中休憩 10 分有	感想 交流	情報 交換	閉 会 行 事
----	--------------------------	--	----------	----------	------------------

- 8 申込み
 - (1) 右下のQRコードを読み取るとメール作成画面に移動しますので、必要事項を入力の上送信ください。コピーをして複数名の申込みも可能です。または、別紙様式をメールかFAXで最上教育事務所へ6月28日（火）まで申込みください。
 ※必要事項は、所属・役職等、氏名、社教主事資格の有無（有・無のどちらかをメール本文から選択（不要な項目を削除）してください。）、参加方法（会場・リモートのどちらかを選択（不要な項目を削除））、メールアドレス（リモートの場合は必須）、連絡先、連絡等となります。
 ※連絡事項には、地域学校協働活動を進めるにあたっての課題、日頃実践していること、講師の先生にお聞きしたいことなどがあればご記入ください。事前に講師の先生に送付し、講演の参考にしていただきます。
 ※メールアドレスの書き間違いにご注意ください。リモート参加の方には、開催の一週間前までに、会議ID等をメールアドレス宛てに送信します。
 - (2) 諸般の事情により、当日会場での参加者の定員を40名とさせていただきます。定員を超えた場合は、こちらで調整させていただきます。予めご了承ください。
 - (3) 当日は、新型コロナ感染防止対策として、受付シートの提出をお願いします。（用紙を準備していますので、受付時にご記入ください。）



お問合せ先 最上教育事務所 社会教育課（担当 今田 博之 TEL 29-1441）
 指導課（担当 大類 勝徳 TEL 29-1437）

令和4年度 最上地区自作視聴覚教材コンクール 応募要項

学校教育及び社会教育ともに学習内容が多様化し、学習内容に対応するきめ細かい自作教材の制作と確保が極めて重要になってきています。そして、郷土の自然、歴史、文化等に関する視聴覚教材の充実が強く求められています。そこで、視聴覚教材自作活動の促進と内容の充実、制作技術の向上を図るために標記コンクールを開催します。

- 1 主 催 最上地区生涯教育推進協議会
- 2 主 管 最上教育事務所

3 公募部門

- (1) 学校教育部門 [幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校等で使用する教材]
- (2) 社会教育部門 [幅広い世代を対象として使用する教材]
- (3) 児童生徒作品部門 [小学生・中学生・高校生自身が制作した教材]

4 種 別

- デジタルコンテンツ [映像教材、プレゼンテーションソフト等、オンライン教材 (HP 等)]
- 手作り作品 [紙芝居、かるた等]

5 作品内容

- (1) 学校教育および社会教育において教材として活用できるもの
- (2) 山形県や最上の自然、歴史、風土、伝説、文学、文化財、産業等に関するもの
- (3) 生涯学習活動および生涯学習地域実践活動に関するもの

6 応募にあたっての留意点

- (1) 作品はアマチュアが制作したもので、他のコンクール等で未発表のものに限ります。
- (2) 紙芝居には、台本と録音物を添付してください。
- (3) BGMは、著作権及び著作権隣接権に関する手続きが完了したものを御使用ください。
- (4) 作品の上映時間は、原則20分以内とします。

7 応募方法

- (1) 応募票の提出
別紙<応募票>に、必要事項を御記入の上、最上教育事務所社会教育課長あて、**11月11日(金)まで**、郵送、メールまたはFAXで送付してください。
- (2) 作品の提出
最上教育事務所社会教育課長あて、**11月18日(金)まで**、郵送または直接持参の上、提出してください。

「応募票ならびに作品送付先」 FAX 23-5573
〒996-0002 新庄市金沢字大道上 2034 最上総合支庁
最上教育事務所 社会教育課長 宛
E-mail kontahiroy@pref.yamagta.jp

8 審 査

- (1) 審査会 令和4年12月1日(木)
- (2) 審査観点 制作意図、地域性・教材性、技術性、印象度
- (3) 審査員 管内有識者等5名を委嘱
- (4) 表彰 各部門に「優秀」「優良」「佳作」を授与
「優秀」作品の内、特に優れているものを「最優秀」とする
- (5) 表彰式 令和5年2月27日(月) 最上総合支庁5階 講堂
最上地区生涯教育推進協議会第3回理事会の席上で開催



不明な点は、下記担当までお気軽にお問合せください。

最上教育事務所社会教育課 (担当: 今田) TEL 29-1441 / FAX 23-5573

令和4年度

最上地区社会教育委員・公民館運営審議会委員合同研修会 (兼) 社会教育主事有資格者等研修会 開催要項

- 1 趣 旨 活力ある地域社会の実現と社会教育の一層の振興に向けて、社会教育委員、公民館運営審議会委員、市町村教育委員会及び学校教職員等の社会教育主事有資格者が一堂に会し、ともに学び合い、今後の本地区の生涯学習のあり方や方向性を探る。
- 2 主 催 最上教育事務所・最上地区生涯教育推進協議会・最上地区社教倶楽部
- 3 主 管 最上教育事務所
- 4 日 時 令和4年9月28日(水) 午後1時30分から午後4時30分まで
- 5 会 場 最上総合支庁 講堂
住所：新庄市金沢字大道上 2034
- 6 対 象 各市町村社会教育委員及び公民館運営審議会委員、
市町村教育委員会関係者、社会教育主事有資格者、その他どなたでも
- 7 内 容 【テーマ】アフターコロナの公民館活動
～社会教育委員・公民館運営審議会委員、社会教育士の協働で創る地域の未来～
(1) 事例提供 余目第四まちづくりセンター 和合の里を創る会
事務局長 高橋 逸夫 氏
(2) 講 演 山形大学地域教育文化学部
教 授 安藤 耕己 氏



8 日 程

13:10 13:30 13:40 14:00 15:30 16:20 16:30

受 付	開 会 行 事	【事例提供・質疑応答】 「和合の里振興計画実現 に向けた取り組み(仮)」 高橋 逸夫 氏	【講演・質疑応答】 「社会教育委員・公民館運営審議会委員、 社会教育士の協働で創る地域の未来(仮)」 安藤 耕己 氏	休憩10分 情報交換 40分	閉 会 行 事
--------	------------------	---	---	----------------------	------------------

9 申込みについて

- ① 市町村社会教育委員及び公民館運営審議会委員、市町村教育委員会職員、市町村立学校関係者は、別紙様式1にて9月14日(水)まで各市町村教育委員会社会教育主管課にお申し込みください。各市町村教育委員会担当者の方は、9月16日(金)まで、別紙様式2を最上教育事務所社会教育課下記担当へメールにて送信してください。
- ② ①以外の方は、下記担当者まで、直接電話にてお申し込みください。

10 問合せ先・その他

- 本研修会に関するお問合せは、下記担当までお願いいたします。
- 当日は、別添の「受付シート」を御提出ください。



担 当
最上教育事務所 社会教育課 主任社会教育主事 八城 良美 TEL 0233-29-1441 / FAX 0233-23-5573 E-mail yashiroy@pref.yamagata.jp

令和4年度山形県読育推進ネットワーク整備事業「最上地区読育推進ネットワーク研修会」
 (兼) 最上地区読み聞かせサークル連絡協議会研修会
 (兼) 最上地区家庭教育推進協議会研修会 開催要項

- 1 ねらい 子どもが読書に親しむ機会や環境を整備するために、公立図書館・図書室、読み聞かせサークル等の連携推進を図る研修会を実施し、家庭と地域における「読育」推進体制の構築を目指す。
- 2 主催 山形県教育委員会
- 3 共催 最上地区読み聞かせサークル連絡協議会
最上地区家庭教育推進協議会
- 4 主管 最上教育事務所
- 5 期日 令和4年11月10日(木) 13時30分～16時30分
- 6 会場 最上広域教育市町村圏事務組合教育研究センター
住所：新庄市大字昭和660 電話：0233-32-1888
- 7 対象 地区読み聞かせサークル連絡協議会会員、市町村教育委員会・健康福祉主管課職員、保育所・幼稚園・小中学校職員、図書館職員、読み聞かせ実践者等

8 日程

13:00	13:30	13:40	14:00	15:45	15:55	16:25	16:30
受付	開 会 行 事	【事業紹介】 最上地区読育推進 連携講座について (理科読体験) (最上教育事務所)	【講演とおえかきワークショップ】 演題：「Let's 考えよう！話し合おう！ 子どもとアートや読書を楽しむこ とに関するあれこれ」 【講 師】 ラーワー ちひろ 氏 (絵本作家)	休憩	【情報交換】	閉 会 行 事	

- 9 申込み 下のQRコードを読み取り、申し込みフォームから申し込みください。
QRコードを読み込めなかった場合は、電話にてお申し込みください。

TEL 0233-29-1442

締切：11月1日(火)



- 10 その他
・「受付シート」に体温等を御記入の上、当日受付にて提出願います。

- 11 問合せ 最上教育事務所社会教育課 担当：高橋裕美

Tel 0233-29-1442

最上地区ヤングボランティア交流会 開催要項

- 1 **ねらい** 最上地区でボランティア活動に携わる青少年同士の交流を図り、ボランティア活動の意義や楽しさについて理解を深めるとともに、地域における青少年ボランティア活動のさらなる活性化をめざします。
- 2 **主催** 山形県教育委員会
独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立磐梯青少年交流の家
最上地区生涯教育推進協議会
- 3 **主管** 最上地区ヤングボランティアセンター運営会議
「会津・山形体験の風をおこそう」運動実行委員会
- 4 **日時** 令和5年2月4日(土) 13時から16時40分
- 5 **会場** 最上広域交流センターゆめりあ 花と緑の交流広場・会議室
- 6 **対象** ○青少年ボランティアサークル会員
○ボランティア活動や地域活動に関心のある中学生・高校生 等

7 **日程**

12:45 13:00 13:10 14:20 16:00 16:30 16:40

受付	開会行事	【交流①】 企画運営委員によるお楽しみ企画	【交流②】 ボランティア活動スキルアップ講座	【交流③】 ボランティアサークル紹介	閉会行事
		参加者のみんなで楽しく交流する企画。どんな内容かは、当日のお楽しみ♪	各ボランティアサークルがボランティアのスキルアップの講座を企画運営します。参加者はそれぞれのブースに分かれて体験します。	ボランティアサークルで取り組んできた活動を紹介し合い、参加者同士の交流を図ります。	

8 **参加費** 1人 36円 (※保険代です。当日、受付でお支払いいただきます。)

9 **持ち物** 筆記用具、飲み物、参加費 ※動きやすい服装で参加してください

10 **参加申込み**

(1) QRコードからの申込み

右のQRコードを読み込み、申込みフォームに必要事項を入力の上、1月10日(火)までにお申込みください。

(2) FAXまたは郵送での申込み

右の申込み用紙に、必要事項を記入の上、1月10日(火)必着で、最上教育事務所社会教育課長宛お申込みください。※FAXの場合は、送信後に電話で受信の確認をお願いします。



11 **その他**

当日撮影する写真は、記録集やポスター等で活用させていただく場合がありますので、御了承ください。

12 **問合せ**

最上教育事務所社会教育課 (担当：高橋裕美)

〒996-0002 新庄市金沢字大道上2034

TEL：0233(29)1442 FAX：0233(23)5573

【令和4年度最上地区ヤングボランティア交流会 参加申込書】

ふりがな				保護者氏名 (参加同意印)
氏名				印
学校・学年	学校名 ()	年 (男・女)	生年月日	平成 年 月 日
住所		緊急連絡先<電話番号と連絡先を記入:例:母携帯、祖父母自宅等> ※事業当日、緊急時に連絡がとれる連絡先をお書きください。		
〒 -		電話番号①【	】連絡先【	
		電話番号②【	】連絡先【	
		保護者代表連絡先【】【続柄】 ※緊急連絡先と異なる場合のみお書きください		
集合方法について (○で囲む)				
1 家族の車で送り 2 徒歩 3 電車 4 路線バス 5 その他 ()				
帰宅方法について (○で囲む)				
1 家族の車で迎え 2 徒歩 3 電車 4 路線バス 5 その他 ()				

★交流②のボランティアスキルアップ講座では、以下の10種類のブースを予定しています。高校生と一緒にブースの運営の体験を希望するもの4つに○を記入してください。(実際に運営の体験をするのは1つです。参加者のみなさんの希望を見ながら、こちらで割り振りさせていただきます。)

体験ブース (担当サークル)	○記入	体験ブース (担当サークル)	○記入
昔あそび (新庄市: みつばち)		ツリーアート (大蔵村: ぎやらくと)	
キャンドルづくり (新庄市: しずく)		バルーンアート (鮭川村: SAKEKKO)	
レインボーわたあめ (金山町: SUGI☆スターズ)		ドリームオン (カードゲーム) (戸沢村: STAFF)	
スライム作り (最上町: つくし会)		折り紙 (新庄市: プライマルプロジェクト)	
ハーバリウム作り (舟形町: ふなっ子)		ボードゲームで新庄を豊かに【新庄カタン】	
ペットボトル空気砲 (真室川町: ホップステップ)		(ジモト大学: ボードゲーム三国同盟)	

* 運営の体験は1つですが、時間内で希望するブースでの活動体験ができます。

* ボランティアサークルに所属している高校生・中学生のみなさんは、サークル担当の方に直接申し込んでください。

同日開催のイベントのお知らせ

新庄・最上ジモト大学フォーラム

日時: 令和5年2月4日(土)10時~11時45分
場所: 最上広域交流センターゆめりあ 花と緑の交流広場

ジモト大学に参加した高校生の事例発表やトークセッションを行います。ジモト大学オープンキャンパス(ジモト大学プログラムに関する展示)も同時開催しています。誰でも参加できますので、ぜひみなさんご参加ください!

ジモト大学については、
こちらをご覧ください



@SHINJO.MOGAMI_JIMOTODAIKAKU

令和4年度 最上地区生涯教育推進協議会関係事業



地域とともにある学校づくり研修会（兼）社会教育主事有資格教員等研修会



市町村社会教育委員・公民館運営審議会委員合同研修会（兼）社会教育主事有資格者等研修会



読育推進ネットワーク研修会（兼）家庭教育推進協議会研修会



自作視聴覚教材コンクール表彰式



ＹＹボランティア交流会